

海浜植物を探そう・学ぼう・種をとろう

~ 探検して、見つけて、あつめよう ~

新潟の砂丘にはたくさんの海浜植物が生育しています。それぞれの海浜植物はどんなところに生育して、どんな特徴があるのか…

実際に海岸を歩いて探してみましよう。



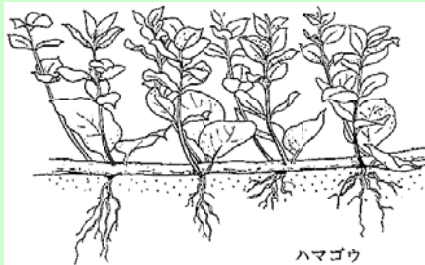
やってみよう！ ~ ミッション 1 のすすめかた ~

・ 海浜植物を探してみよう

今、海岸では p.2 3 のような海浜植物がみられます。

写真と同じ植物を探して、どんな特徴があるか観察してみましよう。

海浜植物の特徴の例…なんでかな？



丈夫な茎や根を横に長くのびします。
上にのびる茎の先端に葉をひろげます。

砂が飛んできて堆積しても
どんどんのびるよ

葉の表面が光っていて、厚みがあります。

海岸に降り注ぐ強い光と乾燥から
葉の表面を守っているよ
葉に水をたくわえて逃さないよう
にしているよ

…ほかにも気がついたことはあるかな？ 図鑑などで調べてみよう！



・ 種を取ってみよう

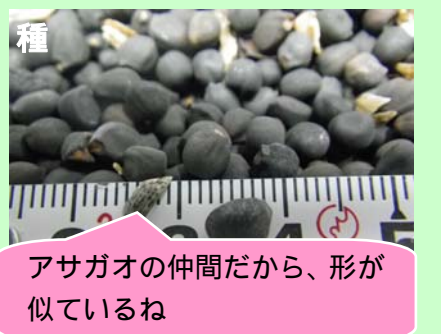
海浜植物の多くは、秋に実をつけて冬を越す準備をしています。

種はどんな形や色をしているかな？ 見てさわって確かめてみよう。



スナビキソウ

根が砂のなかを長く引くから砂引草。
種が軽くて海水にういて漂うことができます。たどりついた砂浜で花をさかせているかもね。



アサガオの仲間だから、形が似ているね

ハマヒルガオ

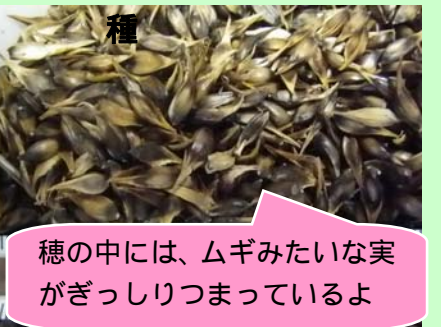
浜に咲くアサガオのなかま。初夏にアサガオに似たピンク色のラッパ型の花を咲かせます。
丈夫な茎を砂の中に長く伸ばし、上に伸びた茎の頂上に葉をひろげます。
砂が堆積しても上に上に茎が伸びて、乾燥に強い葉を広げています。



カモのくちばし

ケカモノハシ

砂浜にはえる草で高さは60~80cmぐらいになるよ。
全体に毛がはえていることと、穂のところがカモのくちばしみたいに見えるから名前がつけられているよ。



穂の中には、ムギみたいな実がぎっしりつまっているよ

コウボウムギ

ひっこぬくと、根元付近が細かい繊維状になっているので、筆がわりにしていました。筆から書の達人の『弘法大師様』を連想して名前につけたんだね。
茎や葉は硬くて引っ張っても千切れないほどで、砂の堆積に負けずに伸びていくよ。

9月の状況



オカヒジキ

砂浜に生える草。葉っぱの形が海藻のヒジキに似ているから、名前が付いたよ。
花はとても小さく、葉っぱの付け根付近についています。葉っぱは食用になります。

9月の状況



ハマニガナ

浜に咲くキクのなかま。
根は丈夫で横にも縦にも長く伸びます。
砂が堆積しても上に上に茎が伸びて乾燥に強い葉を広げるよ。種はタンポポのように綿毛がついています。

9月の状況



コウボウシバ

コウボウムギに似ていますが、コウボウムギより葉が細く、全体的に小さい感じがするのでコウボウシバの名がつきました。
太くて長い根を砂の中で横に伸ばします。

9月の状況



ハマナス

砂浜にはえる背の低い木で高さは1mくらいになります。
5月～8月にかけて濃いピンク色をした花を咲かせて8月～9月になると丸くて赤い実がなるよ。
乾燥に強いので、道路沿いに植えられることもあります。

9月の状況



ハマゴウ

砂浜にはえる背の低い木で高さは30cm～60cmくらいになるよ。
夏になると紫色の花をたくさんつけるよ。
実は小さくて香りがあり、漢方などの薬にも使われています。

9月の状況



ハマボウフウ

砂浜にはえる草で、根が深く伸びているよ。
葉っぱは厚くてつやつやしています。
夏になると白い小さな花をたくさんつけます。

集めた種をまこう、挿し木を植えよう

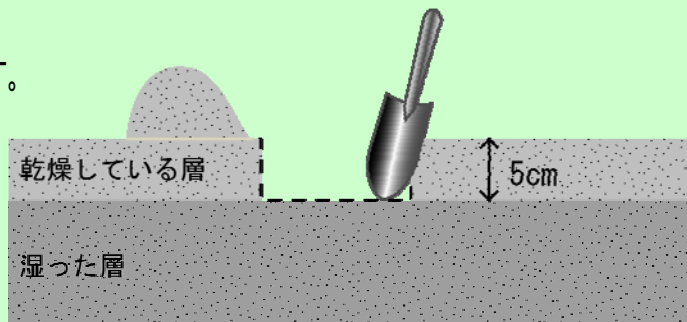
いよいよ、緑の砂浜づくりに向けて海浜植物の種をまいてみましょう。
また、枝から育てた苗(挿し木)も植えてみましょう！

やってみよう！ ~ ミッション 2 のすすめかた ~

・ 種をまこう！

砂を約 5cm 掘下げます。

砂浜では 5cm より深いところに、
湿った層があるといわれています。



あまり浅いと...



せっかく芽が出て、乾燥して枯れ
てしまったり、風によって転がって
しまったりします。

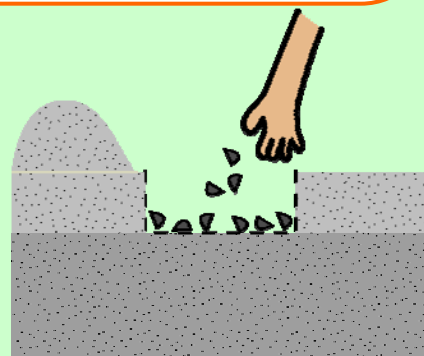
あまり深いと...



芽が地表に届く前に
力尽きてしまいます。

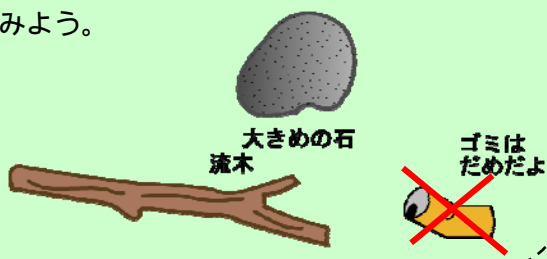
種を穴の底にまきます。

まき方を次のページ
に示すよ。



元の高さぐらいまで砂をかけます。

風よけになるものがみつかったら、置いて
みよう。



種をまこう: 準備が必要な種はどれかな？

穂に種がつまっているもの



コウボウムギ



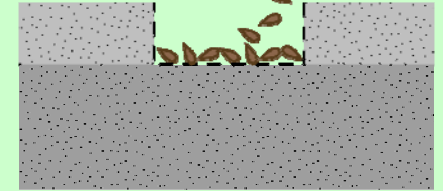
ケカモノハシ

穂を手でほぐしてとれた種を使います。



コウボウムギは穂先がとがっていて痛いので、軍手をはめて作業をしましょう。

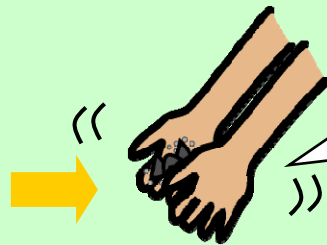
掘った穴の上でほぐそう！



硬い皮で覆われているもの

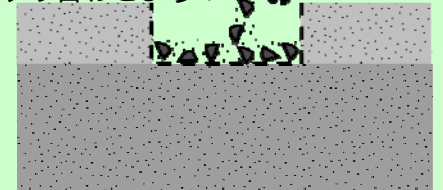


ハマヒルガオ



硬い皮に傷をつけるために砂と一緒にすり合わせます。傷から水が浸み込むと、発芽しやすくなるといわれています。

掘った穴の上で砂とすり合わせよう！

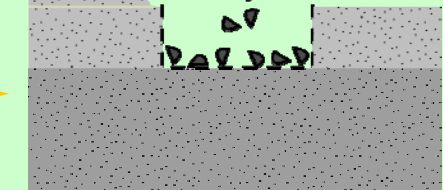


それ以外



ハマボウフウ

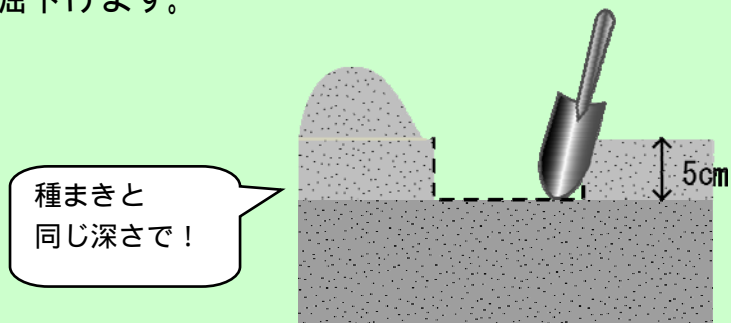
そのまま使います。



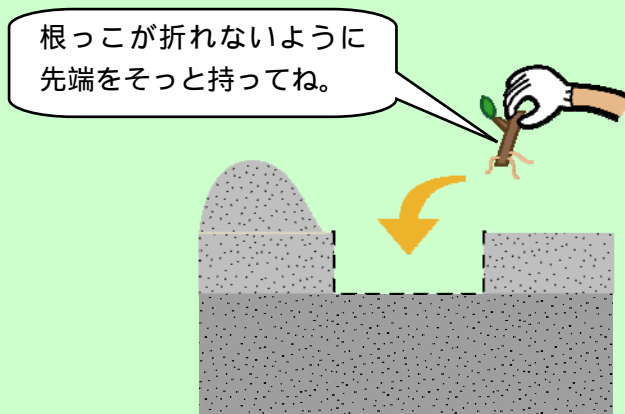
挿し木苗を植えよう！

ハマゴウの挿し木苗を用意しています。1人1つずつ植え付けていきましょう。

砂を約 5cm 掘下げます。



挿し木苗を、穴にセットします。



砂で埋め戻します。



来年はどうなっているかな？

来年の春に新潟海岸をたずねてみましょう！！

今日種をまいたところに自然の海浜植物の種が芽生えたら、どんな風になるのでしょうか？来年の春に花できれいになった海岸を見に行ってみませんか？



今年



翌春以降（イメージ）

自然の海辺の花が色とりどりに咲きみだれる
海辺をみんなでよみがえらせよう！！！！